

<p>開催日：令和4年 2月18日（金） 10：00～12：00</p> <p>場 所：図書室</p> <p>出席者：（委員）奥山委員・岡委員・中上委員・寺田委員・末浪委員・藤澤委員  （学校）太田校長・岡崎教頭・加藤事務長・土井首席・林首席 （欠席：辻上教頭）</p> <p>配布物：次第、令和3年度学校教育自己診断結果について、令和3年度学校経営計画及び学校評価（案）  令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）</p>	
<p>1 令和3年度学校教育自己診断結果に関する事項</p> <p>2 令和3年度学校経営計画及び学校評価に関する事項</p>	
校長	令和3年度学校教育自己診断結果に関する事項について、今年は項目をカテゴリーに分けることで分かりやすくした。回答率は昨年並みである。ホームページ内容を増やしたが肯定的回答は下がっている。ホームページについては内容を工夫する必要があると思う。
委員	いじめに関する項目ではいじめについて見えにくいのはどうであろうか。いじめはどこにでもあることが前提で予防が大事。生徒の回答11番めの否定が多いのは改善が必要だと思う。
委員	支援学校でいじめがあるかどうかはわかりにくいと思う。
委員	いじめが起きにくい構造を構築することで改善することができる。
委員	いじめの定義が難しい。支援学校特有のものがあるだろう。
委員	情報として把握していることが大事。また、情報の速さが必要。いじめではないが毎日少しずつ心をなえさせる言葉を発することも該当する。
教頭	本校ではいじめ対策委員会を開き、情報を吸い上げるようになっている。年1回いじめアンケートも実施している。
委員	アンケートではなく実情がわからない場合がある。
委員	学校ではわかりにくいことも多いと思う。
委員	教員から子どもへの体罰、教員間で防ぐしくみがあるのか。 信頼できる先生に言うフローが必要。あっても事前に周知されていない可能性がある。
校長	同僚性をどれだけ発揮しているか、何が良くて何が悪いのか、すぐに上げる報告相談体制をつくりたい。
委員	本校では毎月いじめアンケートをおこなっている。担任外を選んで話したいと言っている。校長室にも子どもが訴えにくる。「いやな気持ちになったこと」を項目に入れた。
委員	ホームページに肯定的回答が多いことにびっくりした。閲覧数が多くなったのはコロナがあるからかもしれない。もう少し本校もホームページのブログをたくさん更新してほしい。
委員	ブログの作成について教員は本業ではないと思っている可能性もあり、教員も多忙である。
委員	できる教員しかしない、個人芸になっているのでは。
委員	ひとりの人間に任せるとその人次第になってしまう。全員がパスワードを知って誰でも出せるようにすることが課題である。
委員	教職員の業務分担について、負担感を感じている割合が多いが、負担度の感じ方が人それぞれ違う場合もある。
委員	教職員の時間外の勤務も認めてあげてほしい。
委員	進路指導について。進路担当の先生がいるのでもっと積極的にその先生に相談できるような雰囲気

委員	気を作ってほしい。
校長	校務の効率化の目標はこれでいいのか。
委員	令和3年度からはじめた。仕事を見直し効率化する必要がある。今年もいくつか見直して、少しずつ取り組んでいる。
委員	教員の自分たちの意見が反映されていないという項目の肯定的回答率が低くなっている理由は何か？
校長	いろんな条件があり低くなっていると思うが、例えば、仕事の配置などなぜこうなっているのかと聞かれることがある。
委員	自分ではできていると思っけていても運営側はできていないということもある。PDCAを教員は自分に置き換えることはできないのか。
校長	評価育成制度を活用し、自分で年度初めの目標を立て、計画通りに行うことができればPDCAになる。今年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、教職員は大変だったと思う。コロナに関連して、休まざるを得ない教員が複数いたり、コロナ対応があったりで、思いを伝える場がアンケートになったりしているのではないかと思う。
委員	一般企業だと係、課、部の組織がある。学校のように鍋ぶた型の組織だと自分の意見が反映されないと思いがちなのではないか。
委員	非常勤の補助員制度はないのか。
校長	非常勤の補助員という制度はないが、コロナの特別措置として学習支援員という制度はある。

### 3 令和4年度学校経営計画に関する事項

校長	(令和4年度学校経営計画について説明)
委員	残業時間について、残業時間が単純に減ったことだけを評価することはよくないのでは？
教頭	心身とおに教職員の健康を考えると、一定の残業時間の削減には効果があると考えている。ノー残業デイ等、声掛けをまめにしていることで、教職員全体の残業時間が減ってきている。
委員	PDCAは時代遅れでODAの考え方が支援学校には向いていると思う。地域への情報発信はどうか。支援学校の授業体制など細かいしくみはわからないと思われがちである。
教頭	本校も徐々に進路の情報などを、地域の小・中・高等学校へ発信し始めている。来年度はさらに本校から発信し、進路等の情報を地域の学校と共有したいと考えている。 (令和4年度学校経営計画案の基本的な方針(めざす学校像、中期的目標)の承認をいただく)

校長あいさつ

(次年度委員の交代等、謝辞)